

# 「MaaS」の取組

～観光・商業施設との連携により  
公共交通の利用環境向上を図ります～

## 「MaaS」とは

「MaaS(マース)」とは、英語の“Mobility as a Service”の単語の頭文字を並べた略称で、バス、電車、タクシーなどのあらゆる交通手段を、モノで提供するのではなく、サービスとして提供する概念です。ICTを用いて交通手段をシームレスに結びつけ、人々の移動ニーズに応じて、より便利で持続的なサービスと価値を提供します。

国土交通省においては、地域の課題解決に資するMaaSモデル構築を図る「日本版MaaS推進・支援事業」(※)を実施しており、今年度は38地域が選定され、沖縄県からは、「沖縄MaaS」と「宮古島MaaS」の2件が採択されており、その取組について紹介いたします。

(※)日本版MaaSの取組を加速！  
新たなMaaSの構築を牽引するモデルプロジェクト38事業を選定！  
[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12\\_hh\\_000190.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000190.html)



## 「沖縄MaaS」

令和2年12月23日より、実証事業が開始されました。利用者は、スマートフォンを利用して専用Webサイト(※)にて、モノレール、路線バス(カーリ観光、東京バス、やんばる急行バス)の



スマートフォンのチケット画面をかざしてモノレールの改札を通過

電子化された乗車券や観光施設(沖縄美ら海水族館、首里城公園)の電子化されたチケットを購入することができ、乗車券やチケットをスマートフォン画面に表示させることで、都度購入することなく、スムーズに利用することができ、また、複数の乗車券やチケットがセットになったお得な商品も購入することができます。

さらに、令和3年3月17日からは、目的の地までのルート検索機能や地図サービス、商業施設の割引クーポンの提供などのサービスが追加されました。

## 「宮古島MaaS」

令和3年1月25日から実証事業が開始されました。「がんずうあいのりタクシー」を運行し、利用者は、専用アプリから、乗車予約や運賃支払を

することが出来ます。複数の利用者が同乗(相乗り)の場合は、それぞれの行き先に応じた最適なルートをシステムが設定し、運転者にルート情報を提供します。また、1日乗車券や30日乗車券など、定額で期間中何回でも利用できる乗車券(サブスクリプションサービス)の他、施設入場券と乗車券がセットになったお得なチケットの販売も行われました。

いずれの取組についても、3月でいったん終了となりますが、沖縄総合事務局では、今後、本格的なサービス提供が行われるよう引き続き支援を行い、公共交通の利用環境の向上及び利用促進に取り組んで参ります。



スマートフォンアプリの画面イメージ



お問合せ先  
運輸部 企画室

098-866-11812